

戦局はいよいよ苛烈である

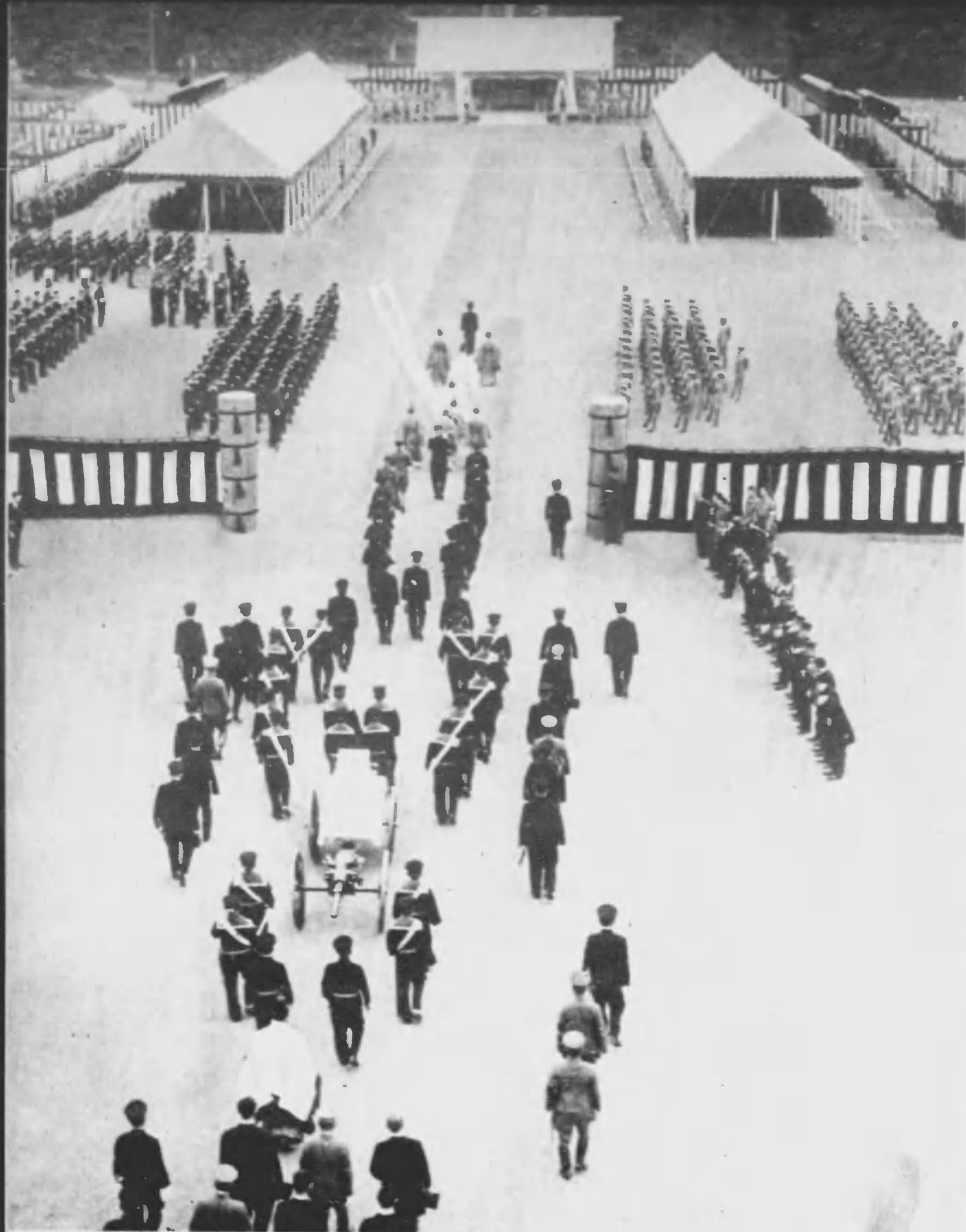
ガダルカナルアツツ

敵反攻の鋭鋒いづこを狙ふとも
われに不動の戦略態勢あり

ガダルカナルアツツ

玉碎せる殉國の雄魂に酬いんと
悲憤心魂に徹し
我等一億いま戦線にあり

山本元帥の國葬



「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

一億國民が、眼りなき痛憤と
深き哀悼の裡に、故山本元帥の
國葬は、長くも勅使ならびに御
使の御差遣、各宮殿下の御拜禮、
御代拜を仰ぎ、六月五日、深緑
薫る日比谷葬場において厳かに
執り行はれた

世界を驚倒させ、敵米英を畏
怖せしめた元帥の偉勳を偲ぶと
き、その御靈を送り奉るわれら
一億の感懐は、惻々として迫り
くる悲愴の念と、それを乗り越
えた敵撃滅の固き復仇の誓ひと
ともに一人奮勃たるものを覺え
た

されど、盡きぬ名残りのうち
に「元帥海軍大將正三位大勳位
功一級山本五十六」のしるべ
は、南海の潮騒に似た松風をよ
ぐところ、多磨の一角に太く高
くたてられ、死してなほわれら
と共にある元帥の英靈は太平洋
の守護神として永へに神鎮まつ
たのである

↑ 肅然、靈車日比谷の葬場に入る